

柏清風	11人
公明党	8人
新政	5人
日本共産党	4人
護憲市民会議	3人
政和会	2人
市民サイド	2人
無所属	2人
定数40名 現員37名	
平成22年10月19日現在	

## 9月定例会

# 柏市版事業仕分けに議論が集中

## 評価人・対象事業の選定基準は

平成22年第3回定例会では、正副議長の選挙、常任委員会の正副委員長の互選等が行われ、新しい体制で審議が行われました。議案では、市立高等学校授業料等徴収条例の一部改正や災害対応特殊救急自動車取得、総額を約8億3918万円増額する一般会計補正予算などについて、活発な議論が行われました。慎重な審議の結果、18議案を可決・同意としました。決算に関する3議案は継続審査となりました。また、議員提出議案として提出された会議規則の一部改正及び子宮頸がんの予防措置実施の推進を求める意見書を可決しました。

### 可決された主な議案の概要

- 市立高等学校授業料等徴収条例の一部を改正する条例の制定について  
高等学校等の在学期間が通算して3年を超える者以外については、授業料を徴収しないこととする。ただし、留学、休学、療養その他のやむを得ない事由により3年を超えて在学することとなった場合には、修学上必要と認められる期間は、在学した期間に通算しないこととするもの。
- 地域活動支援センター条例を廃止する条例の制定について  
地域活動支援センターを廃止するため、条例を廃止するもの。
- 財産の取得について（災害対応特殊救急自動車）  
災害対応特殊救急自動車1台を約2,724万円で購入するもの。
- 財産の取得について（こんぶくろ池公園用地）  
こんぶくろ池公園用地を3億3,099万円で購入するもの。
- 市道路線の認定について  
市道路線36路線を認定するもの。
- 平成22年度柏市一般会計補正予算について  
平成22年度柏市一般会計予算の総額を約8億3,918万円増額し、約1,129億1,987万円に補正するもの。
- 平成22年度柏市介護保険事業特別会計補正予算について  
平成22年度柏市介護保険事業特別会計予算の総額を約1億5,113万円増額し、約158億1,713万円に補正するもの。
- 防災予防条例の一部を改正する条例の制定について  
固体酸化物型燃料電池による発電設備で火を使用するものの位置、構造及び管理の基準を新設するもの。また、複合型居住施設用自動火災報知設備を設置したときは、住宅用防災警報器や住宅用防災報知設備を設置しないことができるものとするもの。

### 定例会の流れ

#### ◆招集日 (9月3日)

市長から市政報告、副市長からの議案の提案説明に続き、正副議長の選挙、常任委員会の正副委員長の互選等を行いました。また、議員選出監査委員選任議案に同意しました。

#### ◆質疑並びに一般質問 (9月9・10・13・16日)

20人が登壇し、市政各般及び議案に関する質疑並びに一般質問を行いました(2・3面に掲載)。

#### ◆委員会 (9月17・21日)

17日に教育民生と建設経済21日に総務と市民環境委員会を開催し、議案・請願を審査しました(3面に掲載)。

#### ◆採決日 (9月24日)

各委員会で審査した議案・請願について委員長報告が行われた後、採決を行いました。また、議員提出の2議案が上程され、可決しました(4面に掲載)。



御参り (逆井 観音寺)

撮影者：新田策郎さん  
撮影時期：平成21年11月下旬

## 新正副議長を選出



やまうちひろいち  
山内弘一 副議長



やまだかずひと  
山田一一 議長

### 就任あいさつ

市民の皆様には、市議会に對し深いご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。  
このたび私たち両名は、9月定例会におきまして、議員各位のご推挙をいただき、議長並びに副議長に就任いたしました。その使命と職責の重さを痛感しております。  
本市におきましては、今日まで県北西部の中心都市として発展を遂げ、8月には人口が40万人を突破しました。一方で、景気低迷の影響により依然厳しい財政状況が続いておりますが、少子・高齢化への対応など解決すべき課題は山積しております。市議会といたしまして、果たすべき役割を十分認識し、市民の皆様のご負託にこたえるべく鋭意努力してまいります。  
今後とも、市議会への一層のご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

# 質疑並びに 一般質問

市政各般について、20人の議員が質問しました。  
ここでは、その要旨の一部をお知らせします。



## 事業仕分け

▼事業仕分けの評価人と対象事業の選定

○ 評価人には対象事業についての深い理解が必要だと思いが、どのような基準で、それが選んだのか。

○ 評価人の選任に当たっては学識経験者、民生委員、一般市民等の中からいろいろなか形で勉強をしている方、行政の仕組みを理解している方を選び、市長が最終的に承認した。対象事業について詳しくなくても、市民が事業を見て、それについて議論をすることに意義があると考えている。

○ 今回の事業仕分けの目的を、市長は市民に対する説明責任という言葉で述べていた。しかし、それだけでは単なる事業説明会となってしまう。評価人に行政の職員等、知識や経験の豊富な方が参加しなければ、事業仕分けとしては議論が深まらないと思うが。

○ 今回の柏市版事業仕分けが説明会にとどまったという



柏市版事業仕分け

側面もあつたことは認識している。行政側の説明の方法を検討し、今後改善する。

○ 仕分けの対象事業の選定方法は、

○ イメージしやすい事業の仕分けを行うことで市民に関心を持ってもらうという考えで、対象を市民サービス事業に限定した。当初の予定では800の中から100事業程度をピックアップし、そこから評価人に選定してもらう方法を考えていたが、全対象事業から選定してもらったほうがよいという提案を前回の定例会で受けたことを踏まえ、全市民サービス事業の中から評価人に選んでいただいた。

○ 高柳駅西側特定土地地区画整理事業

○ 新中央図書館整備事業

○ 新中央図書館整備計画について

## 教

## 育

## 保

## 健

## 福

## 社

## 企

## 画

## 保健福祉

## 企画

○ 高齢者の安否確認

○ 高齢者の地域とのつながり

○ 学校給食

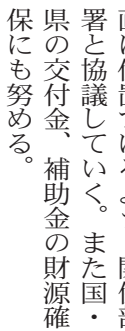
○ 高柳駅西側特定土地地区画整理事業

○ 高柳駅西側特定土地地区画整理事業地

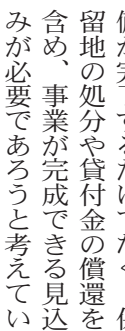
○ 高柳駅西側特定土地地区画整理事業地



市立図書館本館



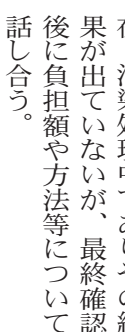
高齢者支援課窓口



学校給食



高柳駅西側特定土地地区画整理事業地



高柳駅西側特定土地地区画整理事業地



高柳駅西側特定土地地区画整理事業地

市民生活

▼千代田近隣センターの存廃問題

市は千代田近隣センターの廃館については地域住民と利用者の意見をたたく、ただけという態度に終始している。市民本位の市政を実現するなら、地域住民等の願いに誠意ある回答をすべきでは。

▼市民のボランティア参加
若者へボランティア体験の機会を提供することについて、どのように考えているか。

夏休みに中学生が体験できる市民活動ボランティアの力を生かしていきたい。

委員会審査

市長から提出された条例や財産の取得などの議案について、各委員会で審査の集中したものをお知らせします。

総務委員会

●財産の取得（災害対応特殊救急自動車）

救急車の運用状況はどのようになっているのか。

救急車の出動は昨年と比較して、9月の時点で約9300件増加している。救急隊は10隊編成となっているが、すべて出動してしまうこともある。手賀東部地区分署の建設に伴って、状況は改善されるものと考えている。今後も救命率向上に向けて、さまざまな努

市民環境委員会

●字の区域及び名称の変更に伴う関係条例の整理に関する条例

名称の変更によって不利益をこうむる人はいないのか。

不利益をこうむる人はいない。あくまでも土地画整理事業によって、土地の名称が変更になったものである。●示談の締結及び損害賠償の額の決定
交通事故件数が北部クリ

教育民生委員会

●市立高等学校授業料等徴収条例の一部改正

公立高等学校に係る授業料の不徴収及び高等学校等就学支援金の支給に関する法律の施行に伴い、市立柏高等学校の授業料を徴収しないことだが、国からはどのよう

情報を市内の公立中学校を通じて提供した。多くの中学生や情報を見た高校生が参加したと聞いている。ボランティアの将来の担い手として期待している。



千代田近隣センター

財政

▼財政調整基金

財政調整基金は、万が一の事態に備えておくものであり、初めから繰越金を期待しているのでは、そのように予算措置すべきでは。

▼債務残高
本市が厳しい財政状況にある原因は、つくばエクスプレスの開業及び沿線地区開発関連事業や第二清掃工場整備事業等による影響が大きいと考えるが、市長も同じ認識か。

主につくばエクスプレス沿線地区画整理事業にかかわる債務を中心に、市が土地開発公社から買い戻さなければならぬ土地保有残高が200億円を超えているなど、市の財政規模と比較して債務残高が多いことは認識している。今後市債のプライマリーバランスを確保するなど、

22年度の市立柏高等学校への交付金は、9986万2718円で、4期に分けて市へ交付される。

●地域活動支援センター条例を廃止する条例

地域活動支援センターを指定管理者で運営しているときは、生活介護、自立介護、就労継続支援は行えなかったのか。

地域活動支援センター条例では、給付費等の対象になる事業に移行することはできなかった。もし行なうならば、サービス事業所としての条例を制定する必要があった。●介護保険事業特別会計補正予算

前回の保険料改定で高所得者の部分で値上げとなつておおむね値下げとなっているが、その中で第4段階が値上げとなっている。今回、介護保険事業財政調整基金に約1億1000万円を積み立てることだが、前回の改定で保険料を値上げする必要があったのか。

介護保険の給付費は毎年約15億円ずつ伸びている。保険料は3年間のトータルで考え改定しており、次年度は今回のような額を積み込むことはできないと考えている。

●一般会計補正予算

障害者就労支援センターを開設する目的は何か。

本市には障害者就労支援センターがなく、民間事業所に就労支援をお願いしている。障害のある方が一般就労していただくには、現状では不十分と感じ、障害者の就労支援を促進するため、市直営のセンター開設に向け取り組みものである。

●市立高等学校授業料等徴収条例の一部改正

公立高等学校に係る授業料の不徴収及び高等学校等就学支援金の支給に関する法律の施行に伴い、市立柏高等学校の授業料を徴収しないことだが、国からはどのよう

ある原因は、つくばエクスプレスの開業及び沿線地区開発関連事業や第二清掃工場整備事業等による影響が大きいと考えるが、市長も同じ認識か。

主につくばエクスプレス沿線地区画整理事業にかかわる債務を中心に、市が土地開発公社から買い戻さなければならぬ土地保有残高が200億円を超えているなど、市の財政規模と比較して債務残高が多いことは認識している。今後市債のプライマリーバランスを確保するなど、

22年度の市立柏高等学校への交付金は、9986万2718円で、4期に分けて市へ交付される。

●地域活動支援センター条例を廃止する条例

地域活動支援センターを指定管理者で運営しているときは、生活介護、自立介護、就労継続支援は行えなかったのか。

地域活動支援センター条例では、給付費等の対象になる事業に移行することはできなかった。もし行なうならば、サービス事業所としての条例を制定する必要があった。●介護保険事業特別会計補正予算

前回の保険料改定で高所得者の部分で値上げとなつておおむね値下げとなっているが、その中で第4段階が値上げとなっている。今回、介護保険事業財政調整基金に約1億1000万円を積み立てることだが、前回の改定で保険料を値上げする必要があったのか。

債務残高の着実な縮減を図るとともに、土地開発公社からの買い戻しを促進し、将来負担の改善に努めていく。

▼財政改革

後期基本計画の中に、市債発行額や財政調整基金の積み増し額の目標値を設定するなど、財政の運営の枠組みを定めてはどうか。

安定的で継続可能な財政運営の確立を目標として、財政構造の弾力性を示す経常収支比率、基金残高に係る指標、市債残高など将来負担を判断する指標の3つの財政指標について議論を進めている。具体的な数値目標については、後期基本計画及び行政改革大綱に位置づける考えである。

後期基本計画の制定を国保料・税金の負担軽減を障害者施設の運営は直営で

助川忠弘
風早北部近隣の学区整備
子ども図書館の利用促進
ダブルデッキ改修について

松本寛道
債務残高の縮減
子どもの青少年センター
生物多様性の保全を

高城早苗
後期基本計画について
介護支援サポーター制度
うつ病対策について

永野正敏
40万人都市となって
いじめ対策について
公用車の管理について

日下みや子
千代田近隣センターの存続
適正な介護認定調査を
住宅リフォーム助成制度を

村田章吾
財政改革\再建計画の策定
福祉\生活保護の運用改革
医療改革\薬剤コスト削減

宮田清子
PCのリース契約は入札で
公共施設の農薬散布は中止を
借金残高を減らす計画は

質問者と質問項目

※紙面の都合上、一人3項目に限り掲載しています。詳しくはインターネット録画映像をごらんください。

石井昭一

事業仕分けについて
学区外就学の弾力化について
後期基本計画について

塚本竜太郎

学校給食
脳脊髄液減少症
平和教育

小松幸子

事業仕分け
熱中症対策
高齢者の安否確認

武藤美津江

平和行政基本条例の制定を
国保料・税金の負担軽減を
障害者施設の運営は直営で

助川忠弘

風早北部近隣の学区整備
子ども図書館の利用促進
ダブルデッキ改修について

松本寛道

債務残高の縮減
子どもの青少年センター
生物多様性の保全を

高城早苗

後期基本計画について
介護支援サポーター制度
うつ病対策について

永野正敏

40万人都市となって
いじめ対策について
公用車の管理について

日下みや子

千代田近隣センターの存続
適正な介護認定調査を
住宅リフォーム助成制度を

村田章吾

財政改革\再建計画の策定
福祉\生活保護の運用改革
医療改革\薬剤コスト削減

宮田清子

PCのリース契約は入札で
公共施設の農薬散布は中止を
借金残高を減らす計画は

中沢裕隆

道徳教育の充実
事業仕分けの改善点
地球温暖化対策

小泉文子

期日前投票
救急医療情報キット
高柳駅周辺整備

小林敏枝

事業仕分け・新中央図書館
弁当の日・柏の葉野球場
大津川の無名橋に名前を

古川隆史

タウンミーティング
職員人件費
審査請求への対応

末永康文

事業仕分け
高柳区画整理事業
近隣センター問題
本池奈美枝

本池奈美枝

平和行政の推進
子宮頸がん予防ワクチン接種
市立かしわ幼稚園の存続

渡部和子

北部巨大開発は見直しを
高齢者等への熱中症対策
花野井カドヤ脇の安全対策

平野光一

福祉教育重視の公約実現を
破綻した北部開発を見直し
土壌汚染の情報隠し究明を

市村 衛

前市長との政策の違いを明確に
高齢者に優しい街づくり
学校建設部門を市長部局に

委員会別議員名簿

(◎=委員長、○=副委員長)

Table with columns: 会派名, 常任委員会 (総務, 市民環境, 教育民生, 建設経済), 議会運営委員会, 下総基地特別委員会, 決算審査特別委員会. Lists members for each group.



第3回定例会初日の9月3日に、成島孝議長及び林伸司副議長が辞職したことに伴い、後任の正副議長選挙が行われました。投票の結果、山田一氏が第63代議長に、山内弘一氏が第58代副議長に、それぞれ選出されました。続いて議員選出監査委員の上橋泉氏及び山田保夫氏が辞職したことに伴い、田中晋氏...

議案の審議結果

Table of council proposals with columns: 番号 (Number), 件名 (Subject), 結果 (Result). Lists 21 proposals and their outcomes.

請願の審議結果

Table of petitions with columns: 番号 (Number), 件名 (Subject), 主旨 (Main Point), 結果 (Result). Lists 18 petitions and their outcomes.

決算議案は特別委員会で

9月9日の本会議において平成21年度柏市歳入歳出、柏市病院事業会計、柏市水道事業会計の決算の認定を求める3議案は、決算審査特別委員会を設置して審査を行うことを決定しました(委員構成は上記議員名簿に記載)。

請願・陳情の方法

行政などに対する皆さんの要望を「請願」または「陳情」として、文書で議会に提出することができます。

請願

内容に賛同する紹介議員(市議会議員)の署名か記名押印が必要です。請願は議会で審議されます。

陳情

紹介議員は不要ですが、全議員へ写しを配付し、審議されません。

提出する請願・陳情の様式

代表者の住所・氏名(ふりがな)・電話番号を記入し、押印の上「要望すべき件名」「具体的趣旨」「説明または理由」などをわかりやすく記載

12月定例会のお知らせ

12月定例会は次の日程で行われる予定です。招集日 11月26日 質疑並びに一般質問 12月2・3・6・9日

編集後記

柏市の事業のあり方について、市民の皆さんに考えて議論をしていただくための「柏市版事業仕分け」が行われました。議会でも市政に関心を持ってもらうために議会報が発行されていますが、どうしたら議会報を読んでいただけるのか、関心を持っていただけるのかというのを議会報のあり方から議論しています。魅力ある紙面づくりに取り組んでいます。(高城早苗)

議会広報委員会

- 委員長 古川隆史
副委員長 日下みや子
小松幸子 佐藤勝次郎
末永康文 助川忠弘
高城早苗 塚本竜太郎
宮田清子